

パネル展示・活動アピールしませんか？

※非営利の活動に限ります

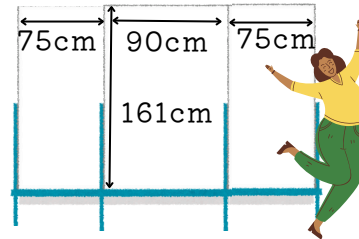
申込方法：参加申込QRコードからお申込み下さい

問い合わせ先：khe02105@nifty.ne.jp（三瀬）

締め切り 2026年1月14日（水）

●パネル展示（先着10団体まで）

- ★ホールにポスターを掲示し、呼びかけや研究発表ができます
- ★展示パネルは3面鏡のような作りでマグネットで掲示します
- ★パネルサイズは高さ161cm、幅（左右）75cm（中央）90cmです



●活動アピール（12:00頃から）（先着10団体まで）

- ★ステージ上でアピールすることが出来ます
- ★アピール時間に限りがあるため下記の要件を厳守してください
- ①1団体、発表者1名のみ登壇
- ②3分アピール 各団体、持ち時間は3分間です
- ③発表形式は自由です
- ④PowerPointや動画を使用する方は事前に提出して頂きます



アクセス

自治医科大学・自治医科大学附属病院 地域医療情報研修センター

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1

JR宇都宮線「自治医大駅」下車 徒歩10分

※お車でお越しの際は「病院駐車場」をご利用の上 駐車券を会場までご持参ください



徒歩の場合



駐車場マップ

当会は、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の事業の一環として行っております

第30回在宅ケアネットワークとちぎ
第4回在宅医療推進フォーラムin栃木



尊厳をまもるケアって
何だろう？

2026年 **2月11日** (水/祝)

10時～15時30分 ※WEB配信あり

自治医科大学 地域医療情報研修センター大講堂

参加費：1000円(当日現金精算・軽食&終了後懇親会)

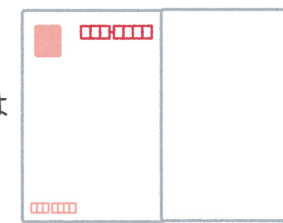
- ★在宅ケアネットワーク栃木年会費として領収します
- ★在宅医療推進フォーラムin栃木(午後)のみの参加は無料(懇親会参加費は別途徴収)
- ★WEB参加は無料(通信が不安定になることがあります)

申込方法：QRコードから申込 又は 往復はがきを郵送

★当日参加も可能ですが、受付の混雑緩和のため事前申し込みにご協力をお願いします



又は



往復はがきの場合

必要事項：氏名、所属、当日連絡のつく電話番号

「在宅ケアネットワークとちぎ申込」と記入

郵送先：村井クリニック

〒320-0061 栃木県宇都宮市宝木町1丁目2589-12

主催：在宅ケアネットワークとちぎ

共催：在宅医療助成勇美記念財団・全国在宅療養支援医協会

後援(順不同)：栃木県 栃木県医師会 栃木県歯科医師会 栃木県薬剤師会 栃木県栄養士会
小山地区医師会 小山歯科医師会 宇都宮市医師会 とちぎケアマネジャー協会 栃木県看護協会

尊厳をまもるケアって何だろう？

プログラム

総合司会：柏瀬昌史（世話人・柏瀬歯科医院）

10:00 開会挨拶 大会長：鶴岡優子（世話人・つるかめ診療所）

第30回在宅ケアネットワークとちぎ

10:10 基調講演1 座長：鶴岡優子

「暮らしの中の医療を目指して」
太田秀樹さん（世話人・医療法人アスムス）

11:00 基調講演2
「新時代の在宅ケアを紡ぐ」
新田國夫さん（一般社団法人日本在宅ケアアライアンス理事長）

11:40 討論

12:00 アピールタイム&昼食 司会：三瀬順一（世話人）
大澤光司（世話人・メディカルグリーン）

第4回在宅医療推進フォーラムin栃木

13:00 来賓挨拶

13:10 エピソード1 司会：永島徹（世話人・NPO法人風の詩）
仲良し親子、E子（90歳）とT次郎（60歳）の物語
【やっぱり食べないとダメですか？】

14:00 記念講演
「末期認知症の人の緩和ケア～進化生態医学と人権からの考察～」
平原佐斗司さん（日本在宅医療連合学会代表理事）

14:40 エピソード2 司会：高橋昭彦（世話人・ひばりクリニック）
仲良し親子、E子（90歳）とT次郎（60歳）の物語2
【やっぱり出さないとダメですか？】

15:20 クロージング
世話人紹介：村井邦彦（世話人・村井クリニック）
2027年告知：石井容子（世話人・国際医療福祉大学看護学科）
内堀真弓（世話人・自治医科大学看護学部）
閉会挨拶：趙達来（世話人・真岡西部クリニック）

15:30 懇親会 司会：黒崎史果（世話人・菅間在宅診療所）

※会場にて開催

当会は、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の事業の一環として行っております

第30回大会長あいさつ 鶴岡優子（つるかめ診療所）

おかげさまで2026年2月11日在宅ケアネットワークとちぎは第30回を迎えます。1997年「暮らしの中の医療を目指して」に始まり、常に身近で旬なテーマを取り上げてきました。ここで一度「はて？」と立ち止まって「尊厳をまもるケア」について考えたいと思います。そもそも尊厳って何？守らないといけないもの？私らしい暮らし？人生？それをまもるケア？「逆転しない正義」のケアはどこにあるのか？2月11日は「大盤石」なる3名を講師にお招きします。自治医大の大講堂で皆様のご参加をお待ちしております。

演者紹介 新田國夫さん

医療法人社団つくし会理事長、一般社団法人日本在宅ケアアライアンス理事長、一般社団法人全国在宅療養支援医療協会会長、日本臨床倫理学会理事長、東京都在宅療養推進会議会長

1967年早稲田大学第一商学部卒業。1979年帝京大学医学部卒業。帝京大学病院第一外科・救急救命センターなどを経て1990年に東京都国立市に新田クリニック開設。1992年より医療法人社団つくし会理事長。

【資格・公職等】
医学博士、日本外科学会外科専門医、日本消化器病学会専門医、日本医師会認定産業医

演者紹介 太田秀樹さん

奈良市生まれ 72歳。1979年日大医卒。自治医大大学院修了後、同大整形外科専任講師・医局長を経て、1992年在宅医療を旗印におよま城北クリニック開設。地域包括ケアシステムの一翼を担う医療法人アスムス理事長。医学博士。整形外科専門医。麻酔科標榜医。介護支援専門員。日本在宅医療連合学会監事、全国知事会先進政策頭脳センター委員、日本在宅ケアアライアンス理事長補佐など。近著 在宅医療一治し支える医療の理念と実践―（中央法規出版）

演者紹介 平原佐斗司さん

日本在宅医療連合学会代表理事、日本エンドオブライフケア学会副理事長、日本認知症の人の緩和ケア学会理事長。

1987年国立島根医科大学卒、1992年から東京ふれあい医療生活協同組合梶原診療所で在宅医療に従事。専門は在宅医療、非がん疾患の緩和ケア。現在、同研修・研究センター長 同オレンジほっとクリニック東京都地域連携型認知症疾患医療センター長、総合内科専門医、在宅医療専門医・指導医、気管支鏡専門医等。

在宅ケアネットワークとちぎ 過去のテーマ（大会長）

- 第1回（1997）暮らしの中の医療を目指して（大会長：太田秀樹）
- 第2回（1998）実りある人生ー私たちにできることー（太田秀樹）
- 第3回（1999）みんなで支えあう在宅ケアー私たちが今、できることー（高橋昭彦）
- 第4回（2000）21世紀の在宅ケアを目指して（趙 達来）
- 第5回（2001）きりひらこう 新世紀の在宅ケア（太田秀樹）
- 第6回（2002）支えられる福祉から、参加する福祉へ（関 隆郎）
- 第7回（2003）普通に近くこと 暮らすこと（高橋昭彦）
- 第8回（2004）地域で育む心のケア（奥谷雅生）
- 第9回（2005）食べること、生きること（趙 達来）
- 第10回（2006）コミュニティが支える在宅ケア 地域力を考える（太田秀樹）
- 第11回（2007）コミュニティケアを担う人材の育成（三瀬順一）
- 第12回（2008）いまを生きる・ホスピスケア（高橋昭彦）
- 第13回（2009）頑張らない介護生活（趙 達来）
- 第14回（2010）多職種がキャピラーとなって推進する栃木の在宅ケア（大澤光司）
- 第15回（2011）在宅ケアネットワーク栃木の15年を振り返り、これからへ（飯島恵子）
- 第16回（2012）頑張れ、地域の市民活動（太田秀樹）
- 第17回（2013）在宅への流れ～栃木県の今、そして今後～挑戦です「在宅医療・在宅ケアの先進県を目指して！」（粕田晴之）
- 第18回（2014）いのちに寄り添う在宅医療～人生の最終章を家で迎えるために、私達が出来ること～（趙 達来）
- 第19回（2015）子どもの気持ちと生命（いのち）に寄り添う～小児在宅ケアの今、そして、これから～（高橋昭彦）
- 第20回（2016）2035年の地域包括ケア～在宅ケアのかたち～（太田秀樹）
- 第21回（2017）いつまでも愛する街ですこやかに（大澤光司）
- 第22回（2018）親を看取る、自宅で看取る、平穏死で近く在宅医療（趙 達来）
- 第23回（2019）認知症を通じて、誰もが自分らしく生きることを考える～自分らしく生きるために必要なことは…～（永島 徹）
- 第24回（2020）「お互いさまの処方箋」健やかに、心豊かに、幸せに～社会的処方～（村井邦彦）
- 第25回（2021）withコロナ時代の社会的処方【WEB】（村井邦彦）
- 第26回（2022）withコロナ「これまで」と「これから」～新型コロナが教えてくれたもの～【WEB】（鶴岡優子・黒崎史果）
- 第27回（2023）テクノロジーがつなぐとちぎの在宅ケア／わが街の在宅ケア～栃木から全国に伝えたいこと～（趙 達来）
- 第28回（2024）「食べる」を考えよう！／食と尊厳（柏瀬昌史）
- 第29回（2025）障がい×リハビリ～地域共生社会を目指して～（黒崎史果）